

循環器内科 後期研修プログラム

特 徴

循環器病学は進歩が著しく身につけるべき知識、技術も多くなっています。大学病院や一部の高度先進病院での循環器内科研修は、これらの高度専門知識や技術を習得することは適切かもしれませんが、しかし、一部で循環器しかわからない「循環器バカ」を生み出してはいないでしょうか？当院の循環器内科研修の目標は、1．内科としての技量を十分に身につけた循環器専門医を育てること。2．循環器を得意とした一般内科インターベンション学会認定医を育てることとしました。循環器専門医をめざす研修医だけでなく、総合内科医、プライマリケア医をめざし内科全般の研修を希望する研修医も受け入れます。当院内科と連携し希望に応じた研修を行うことができます。当科のプログラムは循環器専門医を希望する研修医のみならず、将来総合内科医、プライマリケア医をめざす研修医の方の希望に沿うものと思います。

循環器専門医をめざす場合

- 1．研修期間内に一般内科研修を取り入れ日本内科学会認定医を取得し、日本循環器学会専門医取得のための研修を行う。

G I O

内科全般の臨床能力を身につけることを基本としながら、循環器疾患を中心に外来、入院、救急患者を適切に診断・治療することができる。

S B O s

- 1) 心臓カテーテル検査と冠動脈インターベンション、ペースメーカー植え込みの技術を習得する。
- 2) 心臓、血管エコーの記録と診断に習熟する。
- 3) 心電図の判読、運動負荷試験、320slicesMDCT、RIによる診断、各種心血管動作薬使用に習熟する。
- 4) 末梢血管インターベンション、電気生理学的検査の技術に習熟する。
- 5) 内科認定医、総合内科専門医、循環器専門医、心血管インターベンション認定医を取得する。

ローテーション例

	4月	7月	10月	1月
1年目(卒後3年目)	循環器内科	内科(呼吸器中心)	内科(血液中心)	内科(消化器中心)
2年目(卒後4年目)	循環器内科・選択科			
3年目(卒後5年目)	循環器内科			

選択科で選択できる診療科は内科、総合内科、神経内科(脳神経センター)、心臓血管外科、麻酔科、救急科、放射線診断科など希望に沿ったプログラムとします。

神経内科は週1回の外来診療となり、脳神経センターの病棟研修は脳神経外科中心となります。

診療内容及び平成20年度実績

当院は中空知地域センター病院という特性から近隣から多くの患者さんがいらっしゃいます。

・病床数	26床
・指導医、専門医	3名
・後期研修医	2名
・年間延入院患者数	7,979名(1日平均21.9名)(実数1,016名)
・心血管造影	866件
・冠動脈インターベンション	272件
・末梢血管インターベンション	35件
・ペースメーカー植え込み	66件
・急性心筋梗塞	72例

内科全般の研修を希望し、循環器以外の専門医資格や複数の専門医資格を取得したい場合。

当院は日本内科学会教育病院、日本循環器学会研修病院、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、日本消化器病学会関連施設、日本内視鏡学会指導施設、日本血液学会認定病院、日本呼吸器学会認定施設の指定を受けています。

内科認定医取得後、複数の専門医取得を希望する場合、それに準じた研修システムを提供します。たとえば、循環器専門医を取得したいが内視鏡や腹部エコーもマスターしたい、外科も覗いてみたいといった要望にもお応えします。複数の専門医取得に配慮した研修も可能です。

後期研修期間は3年としますが、延長が可能です。研修期間終了後、当院での継続勤務が可能です。また、北海道大学医学部循環病態内科学講座への入局紹介も可能です。